



< 講座報告 >

A 「発達障がい児の楽しい感覚・運動遊び」

神戸親和女子大学非常勤講師 森田安徳先生

森田先生には 8 月 8 日に行われた夏季研修に引き続き、発達障がい児の楽しい感覚・運動遊びについてご講演をいただきました。

まず感覚統合の発達過程のお話をさせていただきました。その中で発達障がいの子の中に運動が苦手な子がいること、ADHD の子は「体の一部を止めて一部を動かす」運動が苦手な子がいること等が紹介されました。その背景には中枢神経系の機能が関係するという点を、エアーズの感覚統合の図を使って教えていただきました。

次に具体的に感覚・運動遊びを紹介させていただきました。目的にわけての遊びの内容、行う上でのポイント、発達に課題がある子の反応、またそれへの対処法などもお話させていただきました。後半には実際に遊んでいる動画もを見せていただきました。

目標

- I. 身体を動かして楽しかったという実感を得る
- II. 感覚・運動の機能を高める・
- III. 集団参加のためのスキルや態度を身につける

1 感覚

① 揺れやスピード・・・シーツハンモック、スクーターボード遊びなど

前庭感覚によって、覚醒状態や眼球運動をコントロールする、適切な姿勢・運動を起こす、

② 力を入れる・・・綱引き、そり遊び、棒引き、カブ抜き、壁逆立ち、ゆっくり体操、音を立てないで渡そうなど

固有感覚によって各部の位置や運動を知覚する、筋緊張を調節し姿勢の保持と制御を行う

③ 触る触られる・・・マッサージ、どろ遊び、ボールプール遊び、マット遊びなど

触覚によって環境の状況、他者の働きかけを知る、情緒の安定、体のイメージの形成、物を識別する

2 姿勢とバランスの保持・・・しがみつこう、はいはいで遊ぼう、平均台、ハイキングなど

授業中の姿勢保持、床に三角座り、手先の運動、転倒時立ち直り、転倒時の保護伸展

3 体の左右の協調・・・ジャングルジム、ツイスターゲームなど

利き手の確立、左右の動きの協調、脳の左右差

4 一部を止めて他を動かす・・・スクーターボード遊び、ハンモック遊びなど

動きの支点ができると動きが高まる

5 聴覚一運動、視覚一運動の協調・・・バンブーダンス、あんたがたどこさ

運動と他感覚の統合、運動優位から視覚・聴覚優位へ

6 人を意識する・・・みんなで体操など

人と一緒に運動することによって相手を意識する力、相手に合わせる力が高まる

7 運動企画力を高める・・・けんぱ。両足ジャンプなど

不慣れで複雑な新しい動作を企画し、遂行する力

8 情緒を安定させる・・・じゃれ付き遊び など

感情のアクセラとブレーキ

以上、理論と実践を、動画を交えてわかりやすく教えていただきました。